

1. 事業報告

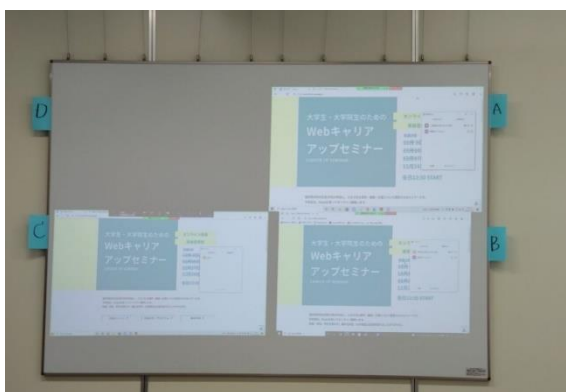
大学生・大学院生のためのキャリア・アップ・セミナーをWEBで行いました

2021年12月3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金)各開催日とも12時30分～17時30分に、Web(Zoom ウェビナー)にて、全学生を対象とし事前登録制の『キャリア・アップ・セミナー』を開催しました。

参加企業は福井県内70社が参加し、割り振られたAからDの会場にて、各企業が事業内容や製品・サービス・技術を紹介し、質疑応答が行われました。

参加者数は509名(全実施日の延べ参加者数)、各業界・職種・企業について研究でき、自身の将来について考えることができるセミナーとなりました。

今年度のセミナーにていただいたご意見・ご要望を踏まえて来年度のセミナー、また今後の活動に反映できるよう、取り組んでまいります。



(A～Dの各会場の様子)

2. 事業報告

学生起業サークル支援事業・学生試作品支援事業の中間報告会を行いました

2021年12月20日(月)13:00～15:00に、産学官連携本部の研修室にて『学生起業サークル支援事業・学生試作品支援事業の中間報告会』を開催しました。

本事業は、本学卒業生の寄付(株)ミッション起業支援基金により、本学学生のアントレプレナーシップ(起業マインド)の養成を目的として実施しています。

報告会では各プロジェクトの代表者から、学生起業サークル支援事業では「予算の使途と事業への効果」について、また学生試作品作製支援事業では「試作物の展示とその説明もしくは試作物上の場合においては現段階の試作物」についての報告がありました。

酒粕クレヨン等のプロジェクトに酒粕を提供していただいている吉田酒造社社長 吉田由香里様や産学官連携本部、産業人材育成部の教員からアドバイスや質疑が行われました。

本事業は、3月中旬の実績報告書が提出されるまで、引き続き活動が行われます。



(中間報告会の様子)

3. 活動報告

本機構川上祥代特命助教が「高レベル放射性廃物処分問題を考える in ふくい 2021」の開催に携わりました

2022年1月8日(土)9:00～、福井大学(大学院工学研究科 安全社会基盤専攻 原子力安全工学コース)が主催、福井工業大学(工学部原子力技術応用工学科)、福井県立大学(経済学部)、福井南高等学校、日本原子力産業協会(JAIF)が共催し、オンラインのライブ配信にて、『高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える in ふくい 2021』を

開催しました。

本対話の場は、将来を担う若い世代がエネルギー問題に関心を持ち、自ら考える場となることを目的とし、地域創生推進本部 川上祥代 特命助教および大学院工学研究科 川本義海 教授がリードする中、県内の3大学(福井大学、福井県立大学、福井工業大学)および福井南高等学校の学生・生徒あわせて30名が参加して開催されました。

11回目となる今回は、はじめにJAIFによる講演、そして福井南高等学校の生徒2名からの問題提起が行われた後、6つの班に分かれて高レベル放射性廃棄物に関する課題についてグループ対話が行われました。

参加生徒からは、「普段接点の少ない大学生の方々と対話することができ、大変有意義な時間でした。大学生の皆さんが熱心にこの問題に関心を持ち、真剣に考えていることは私個人としても刺激になりました」といった感想が聞かれました。

高レベル放射性廃棄物の処分問題をテーマに意見交換を行い、ものの見方や考え方を共有する交流の機会が提供された場になりました。



(グループ対話の様子)

4. 事業報告

福井発！ビジネスプランコンテスト 2021 の最終選考会が行われました

2022年1月29日(土)14時~17時30分に、ハピリンホール(福井市)にて、『福井発！ビジネスプランコンテスト 2021 の最終選考会』を会場およびライブ配信によるハイブリッドで行われました。

本事業は、2004年に福井市ならびに本学、福井県立大学、福井工業大学、福井商工会議所、ふくい産業支援センター、NPO 法人アントレセンターとの協働から、福井をはじめとする地域活性化、経済活性化につながる新事業の創出、創業支援、また新たなビジネスの発掘や起業活動の促進を目的として行っており、今回で18回目となります。

今年度は、県内外から学生の部と一般の部で計176件のビジネスプランの応募があり、一次審査会(書類審査)によって9件のプランが最終選考会に挑みました。

最終選考会では本学工学部物質・生命化学科4年の瀬口亜樹さんが、一般の部に「TEACH-AID〜教育実習生が考案！教師の校務ストレスを減らし、教育に専念できる情報共有アプリ〜」を提案しました。審査員からは著作権や削減できる時間、製作費、新規性、優位性についての質疑に答えました。

また本学から産学官連携本部 米沢晋 本部長が審査員として出席し、発表者のビジネスプランに対して主に技術面、実現可能性の視点から質疑を行いました。

瀬口さんのビジネスプランは、協賛企業3社からスポンサー賞を獲得し、瀬口さんは「自分でもびっくりしました」と驚きながらも喜びのコメントを述べていました。



(授賞式の様子)

(2022.1.31付)